

事業名 CD	0106010402	有機農業普及促進事業
細分化した事業名		
事業担当課室 CD	300100	農林課
		整理コード

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	魅力あふれるまちづくり	
	中項目	環境と調和した農林業の振興	
	小項目	農林業の振興	
関連する個別計画等		根拠条例等	韮崎市有機農業普及促進補助要綱
関連する事業			

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	家畜排せつ物等肥料を購入した者に対し補助金を交付することにより、有機農作物の栽培促進及び家畜排せつ物のリサイクルを促進する。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	梨北農業協同組合が畜産農家の家畜排せつ物を原料として製造した肥料を購入した者
これまでの改善経過	—
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 ■市 □委託 □補助金 □その他 () 購入者から交付申請に係る事務の委任を受けた梨北農業協同組合の補助金交付申請により、購入金額の1/4の額を補助金交付する。
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	有機農作物の栽培促進及び家畜排せつ物のリサイクルを促進。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		20年度	21年度	22年度
A	事業費 (千円)	1,064	1,354	1,519
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,064	1,354	1,519
B	担当職員数(非常勤 職員E) (人)	0.21	0.21	0.21
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	1,451	1,433	1,411
D	総事業費(A+C) (千円)	2,515	2,787	2,930
*参考	H22)市民1人当りの事業コスト	136 円	H22)市民1人当りの行政サービス費用	599,027 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。

注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)、22年度(6,719千円)を使用しています。

注3)一般財源とは使途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			20年度	21年度	22年度
活動指標	利用者数	(人)	163	201	231
	購入金額	(円)	4,578,829	5,823,340	6,588,890
	補助金額	(円)	1,064,000	1,354,000	1,519,000
成果指標	購入者一人当たりの購入金額	(円) 購入金額／購入者数 (=6,588,890円／231人)	28,091	28,982	28,523
効率指標	購入者一人当たりの補助金額	(円) 補助金額／購入者数 (=1,519,000円／231人)	6,528	6,736	6,576

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 家畜排せつ物の処分が難しくなり、それを原材料とした肥料の購入者を補助することにより、有機農作物の栽培促進及び家畜排せつ物のリサイクルを促進を図る手段は妥当である。		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 一人あたりの購入量には変化はないが、購入者数が増加していることから、着実に普及が図れている。		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 購入金額の1/4を補助する補助金額は、必要最小限の割合と判断する。また、個人請求では手続きが煩雑になり普及が伸び悩む可能性があるが、梨北農業協同組合が委任され請求することにより事務の効率化が図れる。		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化 (コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善 (実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化 (結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化 (事業の規模や内容を縮小する) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合 (他の事業と統合する、または廃止する) <input type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 有機農作物の栽培促進及び家畜排せつ物のリサイクルを促進するため、家畜排せつ物を原料として製造した肥料農購入費を補助し、普及を図る。	(2) 24年度 JA等と連携・分析し、戦略的にPRを行い、購入者数の増を図る。	(3) 23年度 JA等と連携・分析し、戦略的にPRを行い、購入者数の増を図る。
	22年度の改善計画 現行どおり		
22年度の改善結果 地元産米のPRを狙ったイベントの企画を実施した			
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること) 他課・梨北農協と連携を密にし有機農作物の栽培促進及び家畜排せつ物のリサイクルを促進の方法を検討する。			
課長所見	有機農作物の栽培促進及び家畜排せつ物のリサイクルを促進するため、農協等関係機関と連携し、継続して普及啓発が必要である。		